

# 静岡北特別支援 学校の改善要望 静岡の団体、県教委に

知的障害者とその家族を支援する「静岡市静岡手をつなぐ育成会」の中村章次会長らが23日、県庁に木苗直秀教育長を訪ね、県立静岡北特別支援学校（静岡市葵区）の教育環境を改善するよう求める緊急要望書を提出した。木苗教育長は「前向きに考えよう」と強く思っている」と応じ、対策の検討に向けて同校を視察する意向を示



木苗直秀教育長に要望書を手渡す静岡市静岡手をつなぐ育成会の中村章次会長（左）＝23日午前、県庁

した。要望書は静岡北特別支援学校について、高等部がプレハブ校舎を20年以上教室に使用している▽高等部は6教室が不足している▽生徒の人数分の机といす

がない▽男女トイレが各階にない―などと課題を指摘し、早急な対策を求めている。

中村会長は静岡市内の特別支援学校に通う児童生徒の保護者を対象にしたアンケートでも、多くが学校施設・設備の充実を求めていると指摘。「状況を認識してもらい、早急に解決してほしい」と訴え、校舎の建て替えや駿河区への学校新設も要望した。

県教委は本校・高等部分校計6校を新設する施設整備基本計画に基づき、静岡市内でも2021年度までに本校の新設に着手する方針。木苗教育長は「優先順位を付けて取り組んでいる」と述べ、理解を求めた。